

E A J

不動産取引の日本版エスクロー(第三者預託)サービスを提供するエスクロー・エージェント・ジャパン(EAJ)と、東京都千代田区は3月23日、海外不動産の仲介を行うピヨンドポーターズ(東京都新宿区)と業務提携契約を締結した。ピヨンドポーターズがインバウンド不動産取引を行う際、EAJが提供する非対面決済サービス『H・OURS(アワーズ)』を取引関係者に提案していく。

非対面決済サービス提供

海外不動産仲介会社と業務提携

『H・OURS』は、不動産取引の売買代金や諸費用を信託口座で預かって決済を行い、書類の授受や手続きを同社ネットワークの司法書士が請け負うサービス。取引の進捗よく状況は独自のクラウドシステムで管理する。日本の不動産取引では、諸費用や書類の受け渡しのために関係者が集まる決済立ち会いが商慣習として行われている。ピヨンドポーターズが運営するポータルサイト『セカイプロパティ』を通じて海外在住の外国人が日本の不動産を購入する場

合、従来は立ち会い決済のために来日しなければならず、時間や経費の負担が大きかった。同サービスの導入で、海外の買主が決済立ち会いのために来日する負担を軽減できる。EAJの担当者は「不動産会社やユーザーにとって不便な点を改善する選択肢の一つとしてサービスを提供していく」とする。ピヨンドポーターズの担当者は「海外では信託が日本より一般的。取引物件が多い顧客や海外投資家には受け入れやすい」としている。

2018/4/2 全国賃貸住宅新聞(3)

非対面決済で業務効率化

立会い時間の省略図る

阪急不動産
(阪急不動産(大阪市))
は2日、不動産事業者向けサービスを行うエスクロー・エージェント・ジャパン(以下:EAJ)、東京都千代田区)との業務提携を発表。EAJ社が提供する非対面決済サービス『HOURS(アワーズ)』の導入を開始する。

『HOURS』は、不動産取引を短時間かつ低コストで提供できる非対面決済サービス。従来行われていた平日中の、金融機関営業時間内に限られた不動産取引決済の立ち会いをなくし、決済当日までの取引の進捗状況をクラウド上で確認することができる。利便性の向上や交通費などの負担軽減が見込める。決済代金については売主、買主双方から独立した信託口座で保全する。

阪急不動産では今回の提携により、従業員への働き方改革を進める。同社担当の大屋敷部長は「売買仲介業者との差別化を図り、同サービスの普及を進めたい」と話す。EAJ社側は中古物件の流通促進を狙いとしており、同サービスによる年間取引を約50件見込んでいる。同社の米田浩久マネージャーは「遠隔地で生活する消費者の利用を増やしたい」と話した。

2018/3/19 全国賃貸住宅新聞(13)